

都市再生整備計画

はんだれきしぶんか かお だい き
半田歴史文化が香るまち地区(第2期)

あいちけん はんだし
愛知県 半田市

令和7年4月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	■

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	はんだし 半田市	地区名	はんだれきしぶんか かお ちく たい き 半田歴史文化が響るまち地区(第2期)	面積	148.8 ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度				

目標
 大目標:半田の歴史文化が感じられるまちづくり
 目標1:半田の歴史や文化が感じられるまちづくりを目指す。
 目標2:回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。
 目標3:賑わいのある中心市街地の形成を目指す。

目標設定の根拠
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 本市の中心市街地は、蔵の立ち並ぶ半田運河や、明治時代にビール工場として建築された半田赤レンガ建物など貴重な歴史・文化的観光資源が残されている。しかし、鉄道により中心市街地が東西に分断され、回遊しづらくなりが一因となり、近年は低未利用地や空きテナントが散見されるなど中心市街地としての魅力が低下している。このようななか、平成28年度から鉄道による中心市街地の分断を解消し、交通の円滑化を図るとともに中心市街地の利便性を高めるため、JR武豊線の連続立体交差事業や、駅前の住環境を向上するJR半田駅前地区土地区画整理事業を進めている。それらを踏まえ、中心市街地の移動を円滑化と高質化により、点在している観光資源の歴史・文化的な魅力を活かした面的な広がりを拡大していくことで、人の交流を育む魅力ある中心市街地の形成を図る。さらに、令和5年度には中心市街地活性化推進方針を策定するとともに、地域住民で構成されるエリアマネジメント組織が起ち上がるなど中心市街地活性化に対する機運が高まっている。これらの団体と協働し、居心地よく滞在できるまちの拠点の創出を図る。

まちづくりの経緯及び現況
 本市は、名古屋市の南、知多半島のほぼ中心に位置しており、知多地域の中核的な都市として機能している。その中でも本地区が含まれる中心市街地は、立地適正化計画において都市機能誘導区域に設定されており、基幹的な都市機能の充実や誰もが出かけたと思う都市空間の創出により、拠点としての魅力を高めるべきエリアとして位置付けられている。また、本市には、歴史・文化に関する資源が数多く残っており、それらを保存・継承するとともに、資源を活かした都市の魅力向上に取り組んでいる。
 特に、本地区には、古くから海運業や醸造業等で栄え、黒板囲いの蔵が今なお建ち並ぶ半田運河や明治時代にビール工場として建築された半田赤レンガ建物など、多くの歴史的資源が残されている。これまで半田運河周辺では、景観に配慮した道路の高質化や広場整備を進めており、ミツカンミュージアム(MIM)や国盛「酒の文化館」などの施設には多くの観光客が訪れている。こうした取り組みが評価され、平成29年度には都市景観大賞・都市空間部門において国土交通大臣賞を受賞している。半田運河に隣接するJR半田駅周辺については、令和3年度に景観形成重点地区にして、中部地方で最も早く開業した武豊線や大正・昭和初期に賑わっていた通りで今なお残る和洋折衷建築物などを活かした景観形成に努めている。これら一連の取り組みを契機として、半田運河周辺では、半田運河の魅力を発信し、賑わいを創出するため、夜の運河にヒカリノ玉を浮かべる「Canal Night」や音楽・醸造・アート企画を中心とした新たなイベント「半田運河HOTORI HOLIDAY」等、和文化に親しむイベントが新たに開催されるようになった。また、半田赤レンガ建物では、建物の耐震化及び再整備を行い、観光拠点となっている。市としては、こうした事業を支援しPRを図るとともに、市内に点在化する半田運河、半田赤レンガ建物といった観光拠点との観光客の往来を促進するため、回遊性の向上を目的とした道路の高質化を行うことで観光客の誘客に力を入れてきた。こうした事業展開により、観光客誘致には一定の成果が出てきている。
 一方で、鉄道線が中心市街地を東西に分断していることにより、中心市街地の魅力が低下している。そこで、平成28年にJR武豊線半田駅付近連続立体交差事業の事業認可を取得し、合わせて高架側道整備事業に着手するとともにJR半田駅では、土地区画整理事業を実施し、魅力ある中心市街地の再生に取り組んでいる。また、中心市街地全体として、令和5年7月に中心市街地活性化推進方針を策定するとともに、名鉄知多半田駅からJR半田駅に至る知多半田駅前エリアにおいては、令和5年9月に地域住民からなるエリアマネジメント組織「はんだのたね」が設立され、地元によるまちづくりの機運が高まっている。

課題
 ●通勤・通学のため多くの人が通過している名鉄知多半田駅からJR半田駅までのエリアでは、市の中心拠点として人が居心地よく滞在でき、日常的に賑わう空間を形成する必要がある。
 ●今後のリニア中央新幹線の開業も見据え、半田の魅力的な観光資源を活かして、ファミリー層など幅広い世代の誘客を図る必要がある。
 ●多くの観光客・市民が利用する駅から観光資源へ繋がる動線において、歴史・文化の感じられる良好な歩行空間を形成し、回遊性向上及び景観形成を図る必要がある。
 ●JR武豊線の高架化にあわせ、鉄道により分断されていた中心市街地及び周辺地域の一体化や交通の円滑化を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 ①第7次半田市総合計画(2021-2030)(令和2年度策定)
 半田市の顔として、一体的に利用され、魅力と賑わいにあふれるまちを目指す。
 ●半田運河周辺・半田赤レンガ建物を始めとする歴史的資源や新美南吉・山車祭りなどの文化的資源を活用し、観光拠点としての魅力を高め、交流人口の増加を図る。
 ●JR半田駅前地区などの景観形成重点地区は、歴史的・文化的な景観を保全するとともに景観に配慮した道路整備など地域特性と調和したまちなみの形成を図る。
 ●中心市街地の商業地域には低未利用地が多く、恒常的な賑わいを実現することが求められている。
 ●中心市街地(名鉄知多半田駅周辺から半田運河周辺)の一体的な市街地を形成する必要がある。
 ②立地適正化計画(令和2年度策定)
 基幹的な都市機能の充実や誰もが出かけたと思う都市空間の創出により、拠点としての魅力を高める。
 ●医療、福祉、商業等の都市機能を拠点に誘導し集積することにより、サービスを効率的に提供する。
 ●中心市街地の賑わいの創出に向けて、民間事業者や市民と連携し、誰もがまちに出て歩きたくなるような魅力的な都市空間を創出します。
 ●公共交通網や交通結節機能の強化により中心拠点との交通利便性を向上させるとともに、業務機能や観光機能を強化することで人の流れを創出し、来訪者や地域住民にとって必要な商業機能等の維持・確保を図る。
 ③都市計画マスタープラン(令和2年度策定)
 公的サービス・商業・文化等の基幹的な都市機能の充実と利便性の高い生活空間の創出に併せ、高度利用を図る。
 ●「山車・蔵・南吉・赤レンガ」に代表される歴史・文化的資源や優れた景観を保全・継承や活用することで、様々な人の対流や交流を促進するとともに、愛着と誇りをもって暮らせるまちづくりを行う。
 ●知多半田駅前周辺から半田運河周辺を含む市役所までの東西軸と、JR武豊線の高架下空間の活用が見込まれる南北軸により、日常的に多くの人が訪れ、1日中過ごすことができる空間を形成し、賑わいを創出します。
 ●鉄道駅周辺において、日常生活に必要な都市機能の集積や公共交通ネットワークの拡充による、生活利便性の向上を図り、生涯にわたって便利で快適に暮らせる空間を創出する。
 ●東西交通の円滑化による中心市街地の一体的なまちづくりを進め、徒歩等で回遊できる魅力ある都市空間の形成を促進します。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- 都市機能が集積し、広域的な交通利便性が高い名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺において、JR武豊線の高架化やJR半田駅前土地区画整理事業などによる重点的な都市機能の充実を行うとともに、周辺の歴史・文化資源を活かし、誰もが出かけたいと思う都市空間の創出により、拠点としての魅力を高める。
- 市中心部の賑わいの創出に向けて、民間事業者や市民との官民連携によって、誰もがまちに出て歩きたくなるような居心地がよく、魅力的な都市空間を創出する。
- 身近な生活圏では、中心部とのつながりを持ち、便利で閑静な居住環境の中で、自然や歴史を感じながら暮らすことができる都市づくりを推進する。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォークアブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

滞在快適性等向上区域の考え方

本市の中心市街地のうち、名鉄知多半田駅とJR半田駅の間にあるエリアでは、1日9,000人以上の乗降者数と市内で最も利用者が多い駅である名鉄知多半田駅を軸として、都市計画道路「泉線」については朝夕の時間帯に徒歩での通勤・通学世代が多く通過するが昼間の時間帯が少ない。また、過去に区画整理事業や新規店舗への補助制度等を実施してきたものの、低未利用地や空きテナントが多く見られることが課題となっている。令和5年度には中心市街地活性化推進方針を策定するとともに、地域住民で構成されるエリアマネジメント会社が設立されるなど中心市街地活性化の機運が高まっていることから、名鉄知多半田駅とJR半田駅を結ぶ都市計画道路「泉線」の約1kmを滞在快適性等向上区域に設定し、既存のロータリーやJR半田駅前土地区画整理事業によってできる土地に歩道と一体となった広場等を創出することで、人が居心地よく滞在できるまちなかを創出する。

滞在快適性等向上区域での取組

- 知多半田駅前ロータリーを改修することにより、歩行者空間と一体となった人が滞在できる広場等を創出する。
- JR半田駅前土地区画整理事業によってできる土地を活用し、JR武豊線の高架化による高架下空間と連携した活用が可能な広場等を創出する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
「良い景観が形成されていること」に対する満足度	Pt	市民アンケートによる満足度の平均ポイント	JR半田駅周辺の景観形成や半田赤レンガ建物の高質化等により、満足度の向上を図る。	4.94	R6年度	5.32	R11年度
半田運河・JR半田駅周辺歩行者数	人／日	半田運河・JR半田駅周辺の歩行者数	半田運河・JR半田駅周辺の高質化や、側道、荒古線の整備等により、回遊性を向上させ、歩行者数を増やす。	30,630	R6年度	32,645	R11年度
半田運河周辺・半田赤レンガ建物観光入込者数	人／年	半田運河周辺・半田赤レンガ建物を訪れる観光客数	半田運河周辺の回遊性の向上等により、観光客数増大を図る。	871,597	R6年度	902,102	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1：半田の歴史や文化を感じられるまちづくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JR半田駅前から半田運河を結ぶ導線において、歴史・文化の感じられる良好な景観を有した緑豊かな道路の整備を行う。 ●名鉄知多半田駅前地区において、地域住民参加型イベントや事業者による販売促進イベントを開催する。 ●明治期に造られた産業文化遺産である半田赤レンガ建物を活用し、来訪者に向けて建物をもつ歴史や魅力を発信するとともに、地域を象徴するような場所として地域住民に親しんでもらえるよう整備を行う。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路(電線共同溝整備事業):(都)新川線 ・道路(電線共同溝整備事業):市道中村線 ・高質空間形成施設(緑化施設等):赤レンガ建物景観水路整備事業 ・高質空間形成施設(緑化施設等):JR半田駅前景観道路整備事業 ・地域生活基盤施設(情報板):デジタル観光案内板整備事業 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田運河活性化推進事業 ・中心市街地活性化推進事業 ・赤レンガ建物整備事業 ・半六庭園蔵等整備事業
<p>目標2：回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JR半田駅前周辺において、歴史・文化の感じられる良好な景観を有した緑豊かな道路及び電線共同溝の整備を行う。 ●JR武豊線の高架に伴い、高架鉄道の両側に側道及び(都)荒古線などを整備し、駅へのアクセスの向上および沿線環境の保全を図る。 ●名鉄知多半田からJR半田駅の中心市街地の一部において、歩行者空間と一体的に活用でき、居心地よく滞在できるような広場の整備を行う。 ●名鉄知多半田駅前周辺において、エリアマネジメント会社など地元と連携し、地域住民参加型イベントや事業者による販売促進イベントを開催する。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線東側道1号線 ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線東側道2号線 ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線東側道3号線 ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線西側道1号線 ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線西側道2号線 ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線西側道3号線 ・道路(荒古線整備事業):(都)荒古線 ・道路(電線共同溝整備事業):(都)新川線 ・道路(電線共同溝整備事業):市道中村線 ・道路(新川線整備事業):(都)新川線 ・道路(北末広線整備事業):(都)北末広線 ・道路(知多半田駅ロータリー整備事業):(都)荒古線(駅前広場) ・地域生活基盤施設(情報板):デジタル観光案内板整備事業 ・地域生活基盤施設(広場):知多半田駅ロータリー広場整備事業 ・地域生活基盤施設(広場):JR半田駅活動広場整備事業 ・滞在環境整備事業:知多半田駅滞在空間整備事業 ・滞在環境整備事業:JR半田駅滞在空間整備事業 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田運河活性化推進事業 ・中心市街地活性化推進事業 ・JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業 ・JR半田駅前土地区画整理事業 ・高架下空間等活用検討事業

目標3：賑わいのある中心市街地の形成を目指す。

- JR半田駅前周辺において、歴史・文化の感じられる良好な景観を有した緑豊かな道路及び電線共同溝の整備を行う。
- JR武豊線の高架に伴い、高架鉄道の両側に側道及び(都)荒古線などを整備し、駅へのアクセスの向上および沿線環境の保全を図る。
- 半田運河周辺において、CanalNightや和文化に親しむイベントを開催する。
- 名鉄知多半田からJR半田駅の中心市街地の一部において、歩行者空間と一体的に活用でき、居心地よく滞在できるような広場の整備を行う。

■基幹事業

- ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線東側道1号線
- ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線東側道2号線
- ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線東側道3号線
- ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線西側道1号線
- ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線西側道2号線
- ・道路(高架側道整備事業):(都)武豊線西側道3号線
- ・道路(荒古線整備事業):(都)荒古線
- ・道路(電線共同溝整備事業):(都)新川線
- ・道路(電線共同溝整備事業):市道中村線
- ・道路(新川線整備事業):(都)新川線
- ・道路(北末広線整備事業):(都)北末広線
- ・道路(知多半田駅ロータリー整備事業):(都)荒古線(駅前広場)
- ・地域生活基盤施設(広場):知多半田駅ロータリー広場整備事業
- ・地域生活基盤施設(広場):JR半田駅活動広場整備事業
- ・滞在環境整備事業:知多半田駅滞在空間整備事業
- ・滞在環境整備事業:JR半田駅滞在空間整備事業
- 関連事業
- ・半田運河活性化推進事業
- ・中心市街地活性化推進事業
- ・JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業
- ・JR半田駅前土地区画整理事業
- ・高架下空間等活用検討事業

その他

【官民協働の取り組み事例】

- ・中心市街地活性化庁内連絡会議を設置し、半田市中心市街地活性化推進方針を策定(令和5年7月)
- ・公民連携の体制づくりのため、半田商工会議所を事務局とした中心市街地活性化協議会準備会を発足(令5年8月)
- ・名鉄知多半田駅周辺エリアの活性化を目的とし、地域住民を中心としたエリアマネジメント会社「ほんだのたね」が設立(令和5年9月)
- ・半田運河周辺エリアの活性化を目的とし、半田市観光協会を中心としたエリアマネジメント会社「_unga(スペースウング)」が設立(令和6年4月)
- ・準備会の内容を基に、委員を招集し、中心市街地活性化協議会を設立(令和6年5月)
- ・JR武豊線の高架化に伴い発生する高架下空間の活用について、JR東海と検討体制の構築を行った。

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

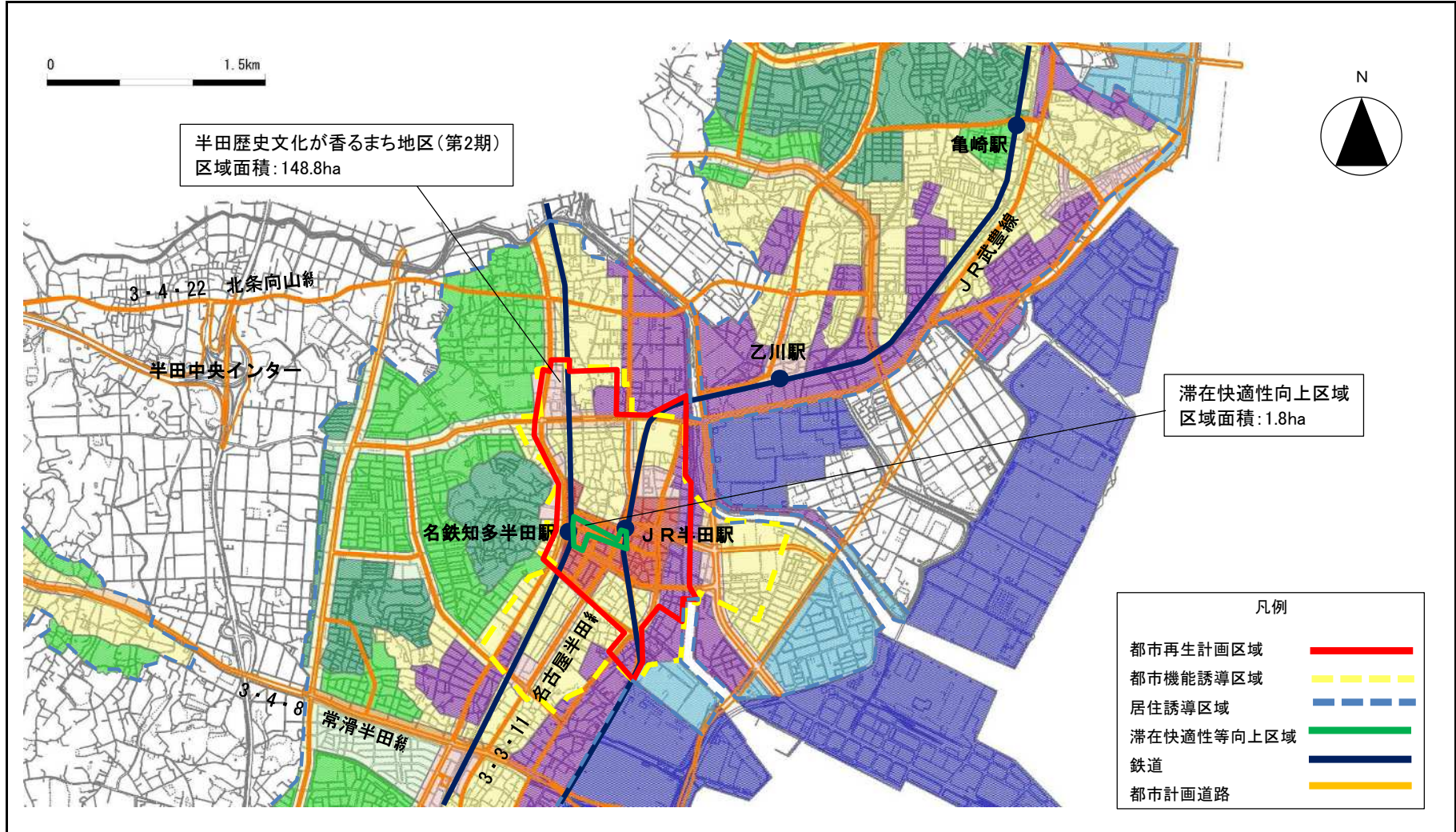
様式(1)-④-1

交付対象事業費	2,305.3	交付限度額	1,152.6	国費率	0.50
---------	---------	-------	---------	-----	------

(金額の単位は百万円)

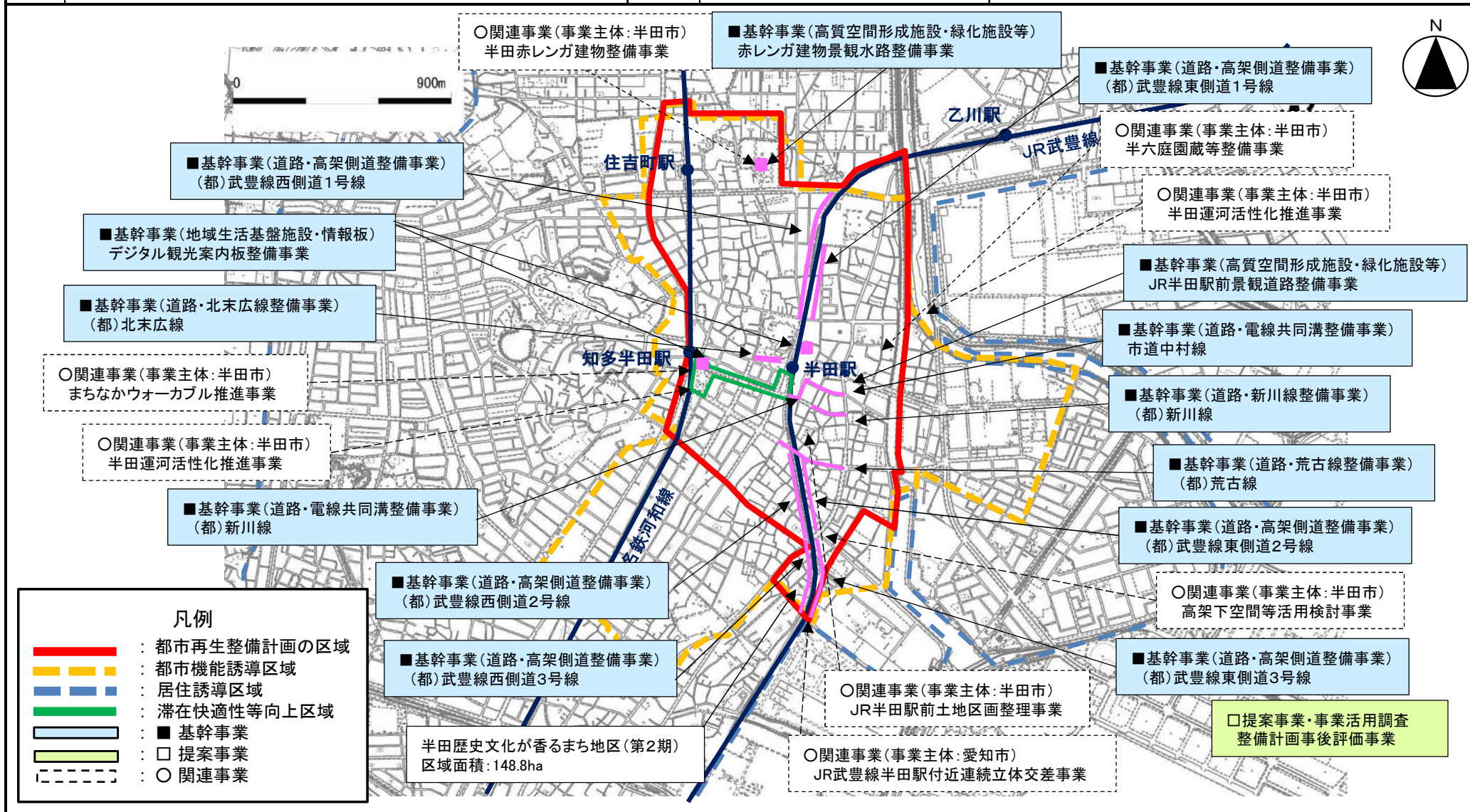
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費			交付対象 事業費	費用便益比 B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	事業費		
道路	高架側道整備事業	(都)武豊線東側道1号線	半田市	直	L=314m	H28	R10	R9	R10	385.4	87.9	87.9	0.0	87.9	-
道路	高架側道整備事業	(都)武豊線東側道2号線	半田市	直	L=341m	H28	R10	R9	R10	817.8	96.7	96.7	0.0	96.7	-
道路	高架側道整備事業	(都)武豊線東側道3号線	半田市	直	L=310m	H28	R10	R9	R10	500.8	87.7	87.7	0.0	87.7	-
道路	高架側道整備事業	(都)武豊線西側道1号線	半田市	直	L=549m	H28	R11	R11	R11	152.9	116.8	116.8	0.0	116.8	-
道路	高架側道整備事業	(都)武豊線西側道2号線	半田市	直	L=361m	H28	R11	R11	R11	93.2	92.7	92.7	0.0	92.7	-
道路	高架側道整備事業	(都)武豊線西側道3号線	半田市	直	L=291m	H28	R11	R11	R11	93.4	92.7	92.7	0.0	92.7	-
道路	荒古線整備事業	(都)荒古線	半田市	直	L=290m	R3	R9	R8	R9	256.4	155.9	155.9	0.0	155.9	-
道路	電線共同溝整備事業	(都)新川線	半田市	直	L=30m	R4	R9	R8	R8	43.2	40.7	40.7	0.0	40.7	-
道路	電線共同溝整備事業	市道中村線	半田市	直	L=100m	R4	R7	R7	R7	139.2	60.4	60.4	0.0	60.4	-
道路	新川線整備事業	(都)新川線	半田市	直	L=30m	R7	R9	R7	R9	174.9	173.5	173.5	0.0	173.5	-
道路	北末広線整備事業	(都)北末広線	半田市	直	L=150m	R7	R9	R8	R9	528.4	528.4	528.4	0.0	438.5	-
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	情報板	デジタル観光案内板整備事業	半田市	直	2か所	R8	R9	R8	R9	8.4	8.4	8.4	0.0	8.4	-
高質空間形成施設	緑化施設等	赤レンガ建物景観水路整備事業	半田市	直	A=1,750㎡	R8	R8	R8	R8	61.2	61.2	61.2	0.0	61.2	-
高質空間形成施設	緑化施設等	JR半田駅前景観道路整備事業	半田市	直	L=235m	R8	R9	R8	R9	782.2	782.2	782.2	0.0	782.2	-
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										4,037.4	2,385.2	2,385.2	0.0	2,295.3	-

半田歴史文化が香るまち地区(第2期)(愛知県半田市)	面積 148.8(1.8) ha	区域 住吉町6~8丁目、東新町、西新町、榎下町、清水北町、清水東町、清水西町、前崎東町、前崎西町、堀崎町、天王町、北末広町、南末広町、泉町、広小路町、更生町、中町1~2丁目、協和町、港本町1~2丁目、本町1丁目、本町3~7丁目、勤内町、東天王町、東本町、銀座本町、山崎町、御幸町、新川町、山ノ神町、西端町、妙見町、南本町、中村町、荒古町、船入町、浜町、東雲町、源平町、新栄町、幸町、宮路町、大坪町
----------------------------	------------------	---



半田歴史文化が香るまち地区(第2期)(愛知県半田市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標:半田の歴史文化が感じられるまちづくり 目標1:半田の歴史や文化が感じられるまちづくりを目指す。 目標2:回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。 目標3:賑わいのある中心市街地の形成を目指す。	代表的な指標	「良い景観が形成されていること」に対する満足度 (Pt)	4.94 (R6年度)	→	5.32 (R11年度)
			半田運河・JR半田駅周辺歩行者数 (人/日)	30,630 (R6年度)	→	32,645 (R11年度)
			半田運河周辺・半田赤レンガ建物観光光入込者数 (人/年)	871,597 (R6年度)	→	902,102 (R11年度)



半田歴史文化が香るまち地区(第2期)(愛知県半田市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標:半田の歴史文化が感じられるまちづくり 目標1:半田の歴史や文化が感じられるまちづくりを目指す。 目標2:回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。 目標3:賑わいのある中心市街地の形成を目指す。	代表的な指標	「良い景観が形成されていること」に対する満足度 (Pt)	4.94	(R6年度)	→	5.32	(R11年度)
			半田運河・JR半田駅周辺歩行者数 (人/日)	30,630	(R6年度)	→	32,645	(R11年度)
			半田運河周辺・半田赤レンガ建物観光入込者数 (人/年)	871,597	(R6年度)	→	902,102	(R11年度)

